



## ディアドラ (27)

T-268 B-128(L) W-92 H-118

種族：キ○グリザード

出身地：ベコン溪谷

喫煙：吸わない

飲酒：よく飲む

性格：よく熱苦しいって言われる

趣味：スパーリング

### 店長からのコメント

まさにダイナマイトボディ！  
キングスライムと見紛うようなおっぱい！！  
見惚れるほどの縮まった身体！！  
弾力抜群の巨大なお尻！！！！

この圧倒的な肉体美は、生で拝まなければ  
伝わらないでしょう！！

### コスチューム

|        |       |       |
|--------|-------|-------|
| 戦士：○   | 武闘家：○ | 商人：○  |
| 魔法使い：○ | 僧侶：○  | 遊び人：○ |
| 賢者：○   | 勇者：○  |       |

### 基本プレイ

|        |       |        |
|--------|-------|--------|
| Dキス：○  | フェラ：× | 指入れ：○  |
| パイズリ：○ | 生本番：○ | 膣内射精：○ |

# ドラゴンヘルズ2 ユスプレーズ

「待たせたな。賢者たる私が貴様を導いて…  
ん、そういうキャラ作りは不要か？ そうか。  
いや、私としてもその方が楽で助かるぜ。」



むち♡

いぼるん♡

むち♡

「まだ何もしていないのになんだコレは♥  
それに妙にそわそわして、どうかしたか？  
ははあ、さては貴様童貞だな？  
なに恥ずべきことではないさ。  
私が女を教えてやろう♥」





「強張っているな、そう力む必要はないぞ。  
おいおい、目を反らすな。  
こういう時は見つめ合うもんだろ♥」

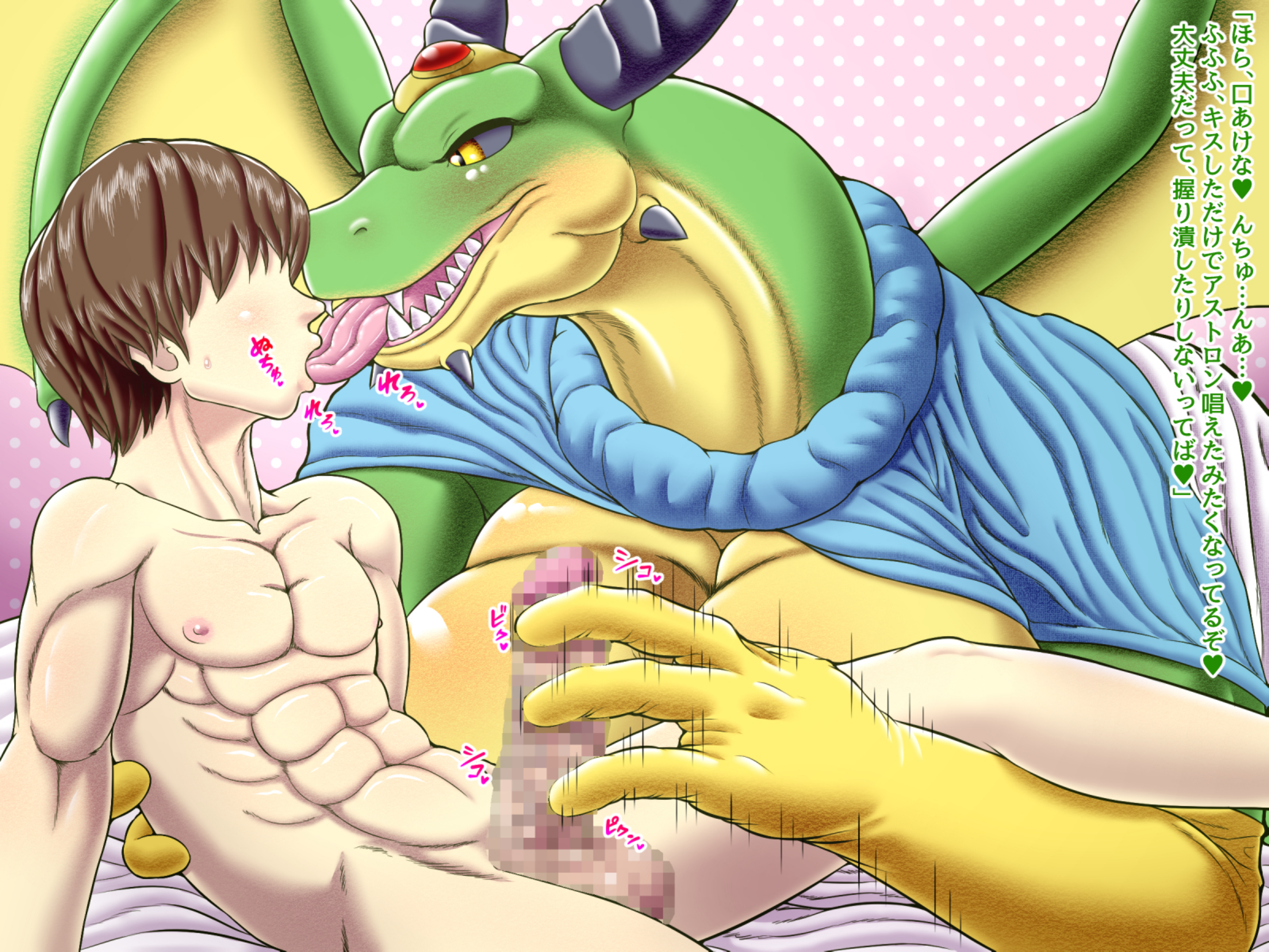
ニッ

むち

ふん

ふん

むち



「ほら、口あけな♥んちゅ…んあ…♥  
ふふふ、キスしただけでアストロン唱えたみたくなってるぞ♥  
大丈夫だって、握り潰したりしないってば♥」



む

にゅ

「よつと、ほらコイツにブチ込んでみな♥  
え？ 回は違えぞ？ 牙で切っちまうから止めときな。  
あーもう察しが悪いな、胸だよむくね〜！」

いん

いん

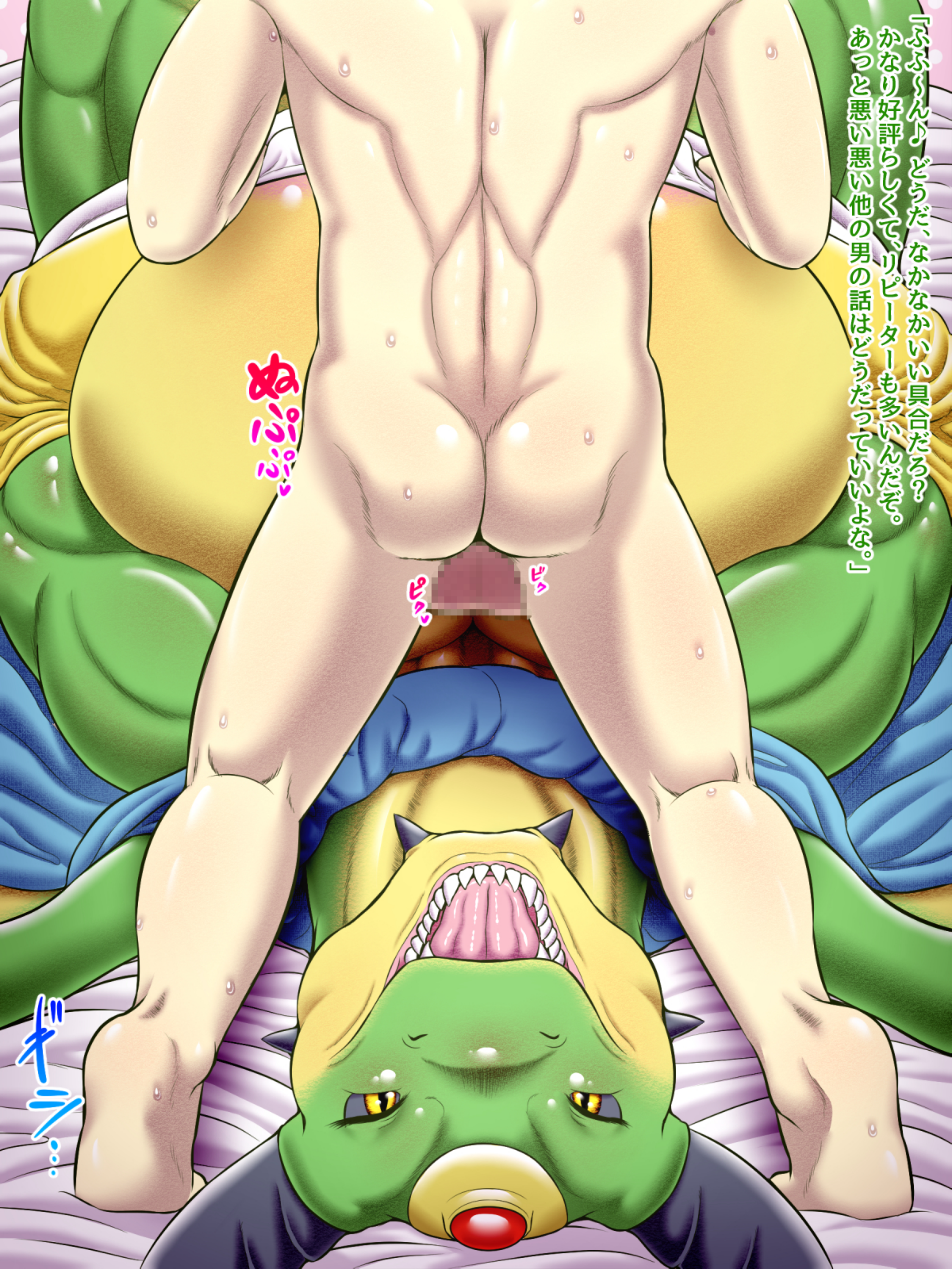
がッ

「ふふりん♪ どうだ、なかなかいい具合だろ？  
かなり好評らしくて、リピーターも多いんだぞ。  
あつと悪い悪い他の男の話はどうだっていいよな。」

ぬいぬい

んんん

ズン



「うお、んぐっ、良いねえ、その腰の振り方…♡  
本当に初めてか？ 才能を感じちゃうねえ♡  
この後が楽しみだね♡」

すぢぢ

たははーん

たははーん

ん

はは

はは

すぢぢ

すぢぢ





「うわっ！ あっつ！ ちよいちよい！  
お前、射精してるだろ!?  
射精すなら射精すって言うてくれよ！」

「うわっ」

「っ」

「うわっ」

「うわっ」



「あー、直飲みしようと思ったのになあ……。ま、いつか。  
気持ちよかっただろ♥ふふん、そうだろそうだろ♪  
ちよつと休んでから……。え、いらない？すぐイケる？  
タフなやつだな……。いいね、気に入ったぞ♥」

どろ。



「さあ、お待ちかねのライドの時間だ…♡  
 あんな腰さばきを見せられちゃあ、  
 私も我慢できなくな…期待してるぞ♡」

カガ  
 しば  
 ぬ♡



いち♡



「うおおお…、ふふ、良いねえ、奥まで届いてるぞ…♡  
さあ、お次は本気の剣技を見せて貰おうじゃないか!!!♡」

ざ  
ざ  
ざ  
ざ  
ざ  
ざ

アッ

ハッ

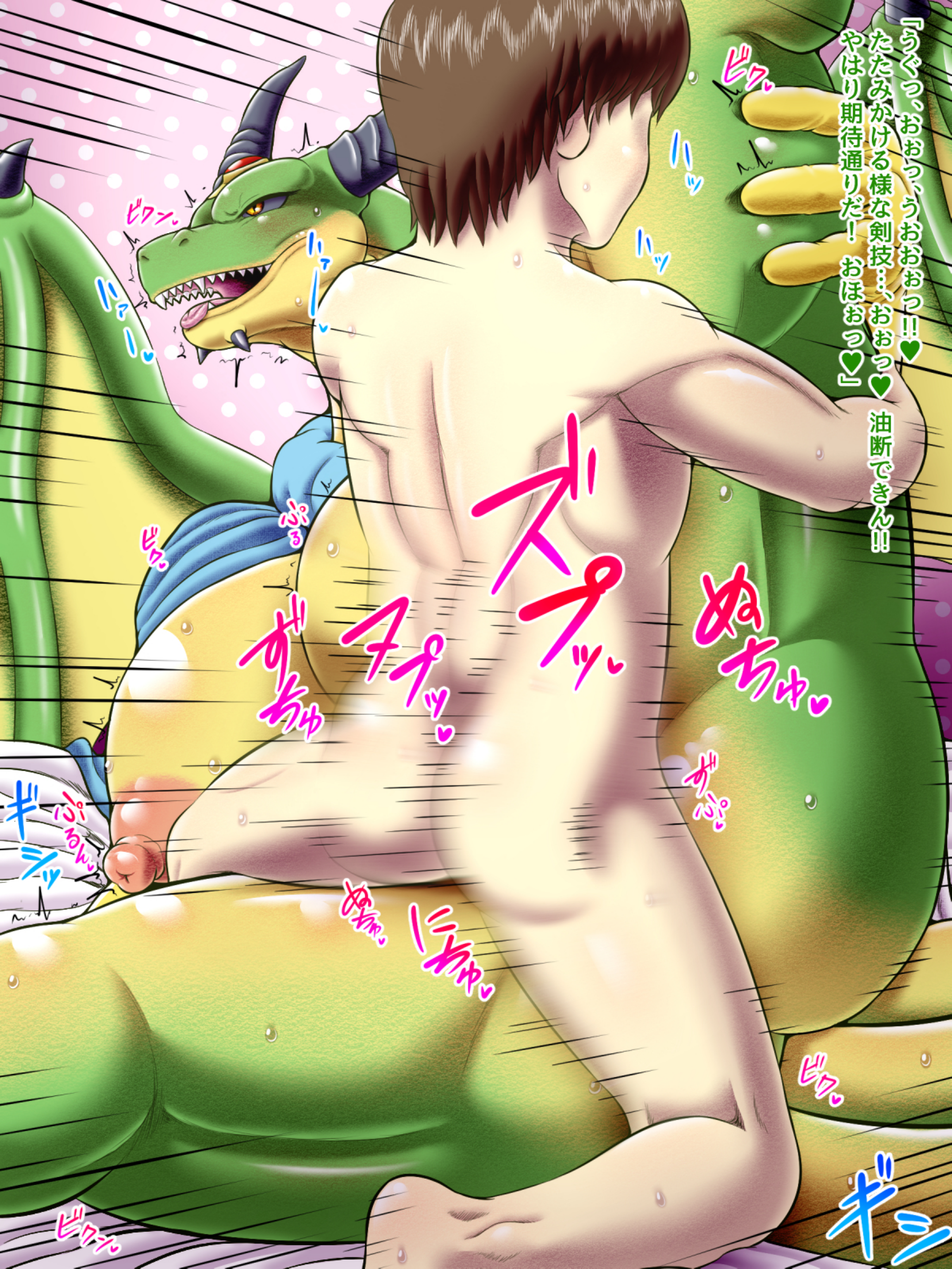
ハッ

アッ

アッ

「うぐっ、おおっ、うおおっ!!  
 たたみかける様な剣技...、おおっ♡  
 やはり期待通りだ! おほおっ♡」

油断できん!!



ギン

「くおおっ♥この連撃…超はやぶさ斬りか…おおおっ!!♥  
貴様のその妙技をもっと見せてみる！おおんっ！♥  
まだまだ…その程度では私を屈服させることはできんぞおっ!!♥」

びるん

びるん

びるん

びるん

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ





「くおおつ♥この連撃…超はやぶさ斬りか…おおおつ!!♥  
貴様のその妙技をもっと見せてみる! おおんつ!♥  
まだまだ…その程度では私を屈服させることはできんぞおつ!!♥」

びるん

びるん

びるん

びるん

びるん

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

びるん

びるん

びるん

「おおっ、ぐああっ♥ 一撃が重い…! おおおんっ!!♥  
ふふ、これほど高揚するのは久しぶりぞ! おっほおっ!!♥  
もっどだ! 全力でぶつかって来い!!」

びるん

ピタッ

ビバン

ビバン

アッ  
アッ  
アッ

アッ

アッ

グッ  
グッ  
グッ

グッ

ずちゅ

ずちゅ

ぬちゅ





「おおっ、ぐああっ♡ 一撃が重い…！ おおおんっ！！♡  
ふふ、これほど高揚するのは久しぶりぞ！ おっほおっ！！♡  
もつとだ！ 全力でぶつかって来い！！」

びるん

ピタァン

ピカァン

ピタァン

ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア

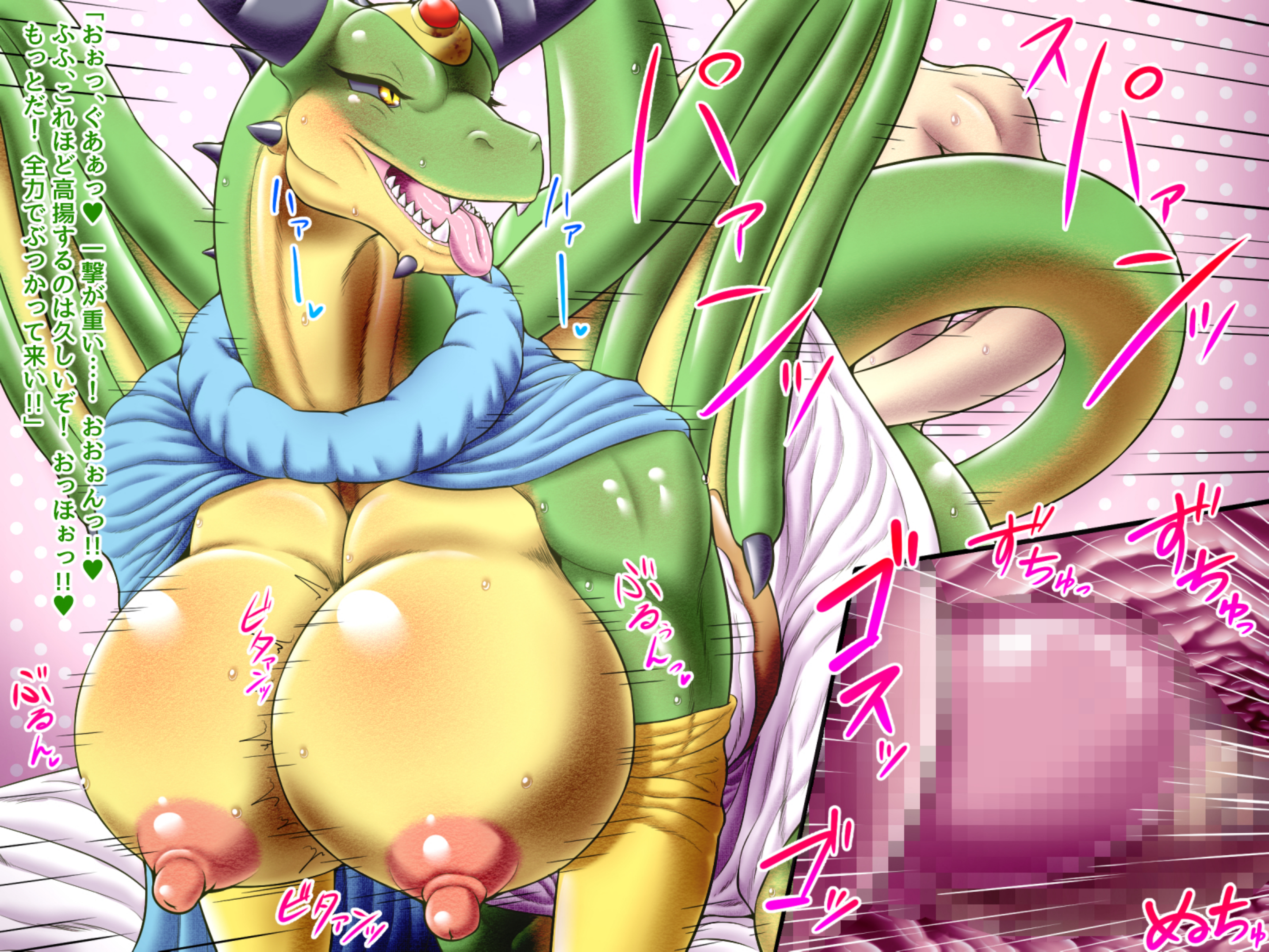
ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア  
ア

グ  
グ  
グ  
グ  
グ  
グ  
グ  
グ

すちゅ

すちゅ

すちゅ



「ぐおおっ、おおおおっ！♥んんちゅ、れる…♥  
貴様…やるじゃないか…気に入ったぞ…♥おっほおっ！♥  
このまま腔内なかに…マダンテをぶっぱなしてみせるおーっ！！♥」

ピク

ハァ

ハァ

ぷる

ピク

ぬち

ピク

ビク

ピク

ピク

ぷる

ピク

ビク



「ぐおおっ、おおおおっ！♥んんちゅ、れる…♥  
貴様…やるじゃないか…気に入ったぞ…♥おっほおっ！♥  
このまま腔内<sup>なか</sup>に…マダンテをぶっぱなしてみせるおーっ！！♥」

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

ビュッ  
ビュッ  
ビュッ

びるん

びるん

びるん

びるん







「うおおおおおーっ!!!♥️キタッ!!!♥️  
デバ子子宮にマダンテ精子直撃イーっ!!!♥️  
人間の子供孕んじまうーっ!!!♥️」

ゴッゴッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

ゴッゴッゴッゴッ  
ゴッゴッゴッゴッ  
ゴッゴッゴッゴッ  
ゴッゴッゴッゴッ



「お...おお...この私が...童貞相手に...  
ほ、本気で逝かされちまうなんて...おほっ♡」

はぁ

はぁ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ゴッ

ビクッ

ビクッ



「ふふ、気持ち良かったぞ。あんなに昂ぶったのはいつ以来だろうか……また来いよ……待っているからね……♡」

はぁ

はぁ

「待たせ…、おお、貴様だったか。  
ふふふ、あの日から待ちわびていたのだぞ  
貴様とのあの夜を忘れられなくてな…♥」







つづく… かね